

英 語

教科のねらい

より高度な教材を学習することで、今までに養われた文法力、読解力、表現力を更に伸ばし、英語によるコミュニケーション活動が行えるようになることをめざす。またリスニング力の重要性に対応するため、様々な種類のリスニング演習を多く行う。語法や文法の演習、読解演習を通し、英語力を確かにして、自らの進路を切り開く力とする。また読解演習を通して幅広い教養を身につけることをめざす。

コミュニケーション英語 Ⅲ (必修)	単位数	4
--------------------	-----	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	<p>1) コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱで養った読解力を更に高め、基本英文や構文を用いて作文力を向上させると共に、それをベースに発信力・表現力を涵養する。</p> <p>2) リスニングについても、授業でのリスニングドリルや生徒同士、生徒と教師の英語によるインターラクティブな活動を通して大学入試に十分対応できるようにする。</p> <p>3) 中堅国公立大学の2次試験に必要なレベルの単語力養成を目指す。</p>
使用教科書・副教材等	<p>【コミュニケーション英語Ⅲ】</p> <p>1) Crown English CommunicationⅢ (三省堂)</p> <p>2) Neo 現代を読む (飯綱書店)</p> <p>【英単語】</p> <p>システム英単語 (改訂新版) (駿台文庫)</p>

2. 学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学習のねらい
第1学期	Crown English CommunicationⅢ 毎週、システム英単語 (駿台出版) を小テスト形式で出題する	4	【1】 過酷な旅を通して数々の名句を詠んだ松尾芭蕉の足跡をたどりながら、その作品を鑑賞して日本の自然美を味わい、また人生において旅の持つ意味について考える。
		5	【2】 「神の手」を持つと言われる医師・天野篤が経験した幾度もの挫折と不断的な努力を知りひとつのことを究めることの大切さを学ぶ。また、将来の職業について考える。
		6	【3】 インスタレーションアートの例を鑑賞しながら、新しい視点で物事を捉えるきっかけをもたらすという芸術の側面について考える。
		7	【4】 経済状況の違いは人の行動や感情に影響を及ぼすのか。社会心理学実験を通して、世界に広がる経済格差の問題について考える。
			【5】 急速に発達を遂げるAI (人工知能) について学びながら、AIの持つ可能性と危険性、また人類とAIの未来について考える。
			【6】 DDR (武装解除・動員解除・社会復帰) に携わる瀬谷ルミ子の活動を通して、平和のあり方と、その平和にどのように貢献できるかについて考える。
	[課題・提出物等] 課題帳、ノート		
	[テスト範囲] 毎週、システム英単語 (駿台文庫) を小テスト形式で出題する 中間テスト 授業で扱った内容+各教材で指定する範囲 (その都度、発表する) 期末テスト 授業で扱った内容+各教材で指定する範囲 (その都度、発表する)		
	[第1学期の評価方法・対象] 定期考査、提出物、学習意欲、単語小テスト		

第2学期	Neo 現代を読む	8	・エッセイ、フィクション、文化、現代社会、言語・コミュニケーション、教育・家庭、生き方・考え方、文明・歴史、科学、伝記、テクノロジーなどのトピックの英文をより深く理解する。 (8月～11月共通)
	毎週、システム英単語 (駿台出版)を小テスト 形式で出題する	9	
		10	
		11	
[課題・提出物等] 課題帳、ノート			
[テスト範囲] 毎週、システム英単語 (駿台文庫) を小テスト形式で出題する 中間テスト 授業で扱った内容+各教材で指定する範囲 (その都度、発表する) 期末テスト 授業で扱った内容+各教材で指定する範囲 (その都度、発表する)			
[第2学期の評価方法] 定期考査、提出物、学習意欲、単語小テスト			
第3学期	センター試験対策	12	総合問題演習
	二次・私大対策	1	
		2	
	[課題・提出物等] なし		
[テスト範囲] 期末テスト 大学入試と時期が重なるため、実施しない。			
[第3学期の評価方法] 定期考査、提出物、学習意欲、単語小テスト			
[年間の学習状況の評価方法] 定期考査、提出物、学習意欲 ○考査は、授業や家庭学習にどう取り組んだかの結果であるので大きな参考となる。 時間をやりくりして、一生懸命取り組んだ課題はしっかりと評価する。 ○小テストの取り組み、授業の態度は基本の評価内容である。			
【授業を受けるに当たって守ってほしい事項】 学力をいかに高められるか常に考え、分からないときは先生方にヒントを求めること。友人達と切磋琢磨しながら教えあい考えあう。受け身で授業を受けるのではなく、積極的に疑問を持って受けること。疑問を持ったらずぐに辞書をその場でひく、書き込む、参考書で確認する、など能動的な受け方で授業に臨み力を伸ばしてほしい。自ら求めた時しか理解できない事が多い。勉強を自分のものとして取り組まないと無駄に時間が過ぎていくだけである。 そして、予習と授業で学んだことを定着させるために復習(自学)の質を高めることが大切である。			